

市報

おおいた

51. 6. 15

No. 719

編集と発行
大分市市民部広聴広報課
(☎34-6111)

雨
雨
雨
雨

雨のおほりばたを散歩する若い女性2人。なかなか風情がありますね。適当な雨量は農家の方にとつても必要ですが、大雨が続くと今度は災害が心配になってしまいます。



(写真は昭和通りの歩道で)

県下は6月4日に梅雨にはいりました。これから40日間程うつとうしい日が続きます。また、6月下旬から7月上旬にかけては、毎年各地で集中豪雨が降り、大きな被害が発生します。ご注意下さい。

〈今月の納税〉市県民税第1期・国民健康保険税第2期



なんが なんが

避難するときの 注意

大雨や長雨などによって不安や危険を感じたら早目に次表の避難所に避難して下さい。緊急な場合は、この避難所だけにとらわれず、近くの安全な場所へ避難して下さい。

避難するときは次のことに注意して避難しましょう。

△電気、ガスなどの火の始末と戸締りを確実にする。

△回り道でも最も安全な道順をえらび避難する。

△災害等の状況を軽くみないで消防署員、消防団員、警察官の指示に従う。

▽老人、子ども、病人、身体障害者、妊娠婦のいる家庭は早目に避難する。

▽服装は軽快な行動しやすいものにし、荷物は最小限にとどめ事前に避難を必要とするときはなお、避難所に市職員が配置されるのは、災害対策本部が置かれてのちになりますので、

まづ火
ふだんの
心構えを

トランジスタ
ラジオ

当産の食糧

電灯

所	難	避
区民学区	学校	校
地公民地	学校	校
在村小公	学校	校
島南次	学校	校
大志在公	学校	校
鶴崎佐保田岡添治中内	学校	校
大次戸下田田原野野植戸	学校	校
上大浜鶴三別高松川明小広戸上旧判竹河吉吉吉	学校	校
敷植東下上植胡植賀賀	学校	校
区学	学校	校
地学	学校	校
分小丘丘町	学校	校
大池野ヶ浜揚島吉町日子石分幡崎道道南大府南尾岡留鶴東岡園野坂役	学校	校
金上桜長荷中住浜春王生大八神大大城南豐城滝森津舞城日桃明市久細屋久丹	学校	校

▽警察署 (011-111-1111) 夜間
△市役所 (03-6119-3434) ①災害
休日は (03-6119-3434) 対策本部は市企画調整課です。
○がけくずれ、河川の決壊等は市下水道部建設課へ。(ハやまくすれ等は市耕地林業課へ。
△道路の陥没等は市道路課へ。
なお、宅地造成地内のがけくすれ等は県大分土木事務所建築課(03-2141-5858)へ連絡を。

災害が発生したとき

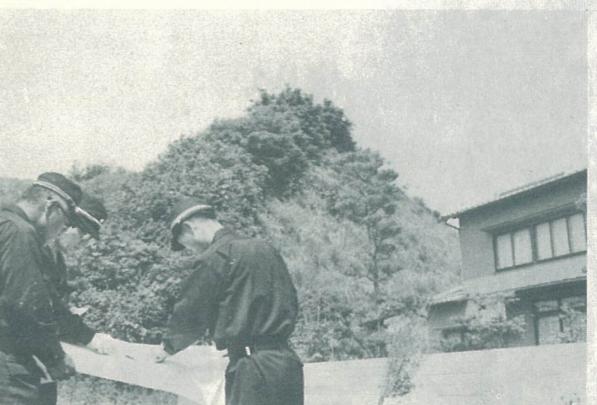
今年もうごとおしい梅雨の季節がやつてきましたが、皆さんの家では雨期の過し方や大雨に対する備えはもうできていますか。

大分地方気象台の予報によると今月下旬から7月上旬にかけて地域的に大雨の降るおそれがあるそうですので、注意が必要です。

市でも災害に備えて、危険予想地域のバトロール、応急資器材の調査、また水防訓練などを実施し、災害予防や応急対策に万全を期しています。

しかし、いつどこで起ころかわからぬ災害から身を守るために市民一人ひとりがふだんから災害に対する十分な知識をもち、家族ぐるみ、地域ぐるみで十分対処できるよう、心がけることが必要で

で雨災害に備えよう



危険予想地域を調査する防災パトロール

家庭で準備する品物

各家庭では次の品物を準備し
いつでもわかるようにしておき
ましょう。

- ▽懐中電灯、ローソク、マッチ
- などの照明器具
- ▽金づち、板きれ、釘などの補
強用具
- ▽救急薬品（傷薬、かぜ薬、胃
腸薬など）
- ▽はだ着、セーターなどの衣類
- ▽現金、通帳、証書などの貴重
品類
- ▽かん詰、インスタント食品な
どの食料品

周辺の地形に
注意しま
しょう。

△排水溝のごみや砂、石、竹木
ぎれなどは取り除き、水の流れ
をよくしておく。

△風で地盤をゆさぶる大木は切
つておく。

△災害が起った場合の安全な避
難場所や避難経路を確認してお

すぐ避難します
半谷 有美子さん 大道町四丁目

幼稚園と保育所に行っている子どもがいますので、災害が起つたらすぐ避難します。もちろん避難場所は知っています。
最近は親より子どもの方がいろいろとくわしいですね。保育所などで毎月避難訓練をしているせいでしょうか。
懐中電灯や貴重品などは、いざという時に備えて一応は準備しています。



大道町四丁目

端がりく



手織でネクタイを
私は、手織でネクタイやマフ
ラーなどを作っており、この織
物を「ななせ織」と言っています。
これは靈山のふもとを流れ

実はこの織物は、私が東京にいた戦時中に婦人運動の一端として、廢物利用や授産事業に役立てたいと思って、考案したものでした。これを、ある人は「世界一簡単な手織機だ。すばらしい」とほめてくれました。そして、その頃、日本婦人会の希望もあって普及につとめたのでしたが、あいつぐはげしい空襲にあ



田 原
池辺 まさ(76歳)

いつに東京の生活をあきらめて郷里の植田にかえりました。そのうち終戦となり、物資も豊富になりましたので、織物も素朴で趣味豊かな民芸品という方向に転向しました。

そして今では、兎毛や羊毛、真綿などを手紡ぎにして糸を作り、草木染めにして、手織で作り出しますが、特に織り方に特徴的な技法を用いることに精進しました。製品もネクタイ、帯締マフラーという手工芸的なものにしています。

美しい郷土の自然にはぐくまれながら、心温まるような民芸品を作ることができましたら、この上ない幸と 思います。



薦師寺盲子(25)

野犬を退治して
野犬が市内各地に出没し、通園中の幼稚園児や子ども、老人婦人などに噛みみいたり、恐怖心を与えたりしています。又ごみなども喰いちらかして、きたなくて困りますね。私の住んでいるこの一見都会風な?明野の街道も同じです。

A cartoon illustration of a man with dark hair and a mustache, wearing a white shirt and a dark tie. He is holding a large, cracked egg in his right hand, looking at it with a surprised or curious expression.

ろ言いたい
ときはこの
ページを。

これは、住民にも責任があるとは思います。ダストボックスからあふれた汚物を食べていること。又かれ草の寝台?を与えていることなどです。

い犬の飼い方をし、他の人に迷惑をかけない様にすれば、このような状態も半減すると思います。もし子犬がほしくなければ不妊手術をすれば良いし、いらなくなれば、保健所か、支所を持って行けば処理いたします。これ以上骨犬がふえなくなりません。

りません。そういうものは、楽しく遊びながら、知らず知らずのうちに、自分で感じ自分で考えてこそはじめて身につくものだと思います。

一方現在うろついている野犬の捕獲は、法律によって県の仕事になつております。県では、この業務を保健所で行つております。県下に5班の捕獲班を編成しています。そして、各地へ捕獲に出向いていますが、敵も命がけなので敏しようで、なかなか効果があがらないそうです。

作つてほしい
私達の子どもの頃に比べ現在の子どもは、子どもの持つている本来の能力や可能性を十分伸ばしてやる場所、環境がないのではないか。
というのは、思いきり元気いぱい遊ぶ場所がないと思うのです。協調性や道徳を口でやましく言つても子どもにはわ

少年の森」を



市政への提言

いところになります。
休日に親子して汗を流して山
をただ歩くのも良いでしょう。
子ども達が隠れ家を作るのも
いいでしょう。自分でブランコを
かけるのもよいでしょう。
体力を鍛え、心身を養うのに
は絶好の場所だと思います。
大都市にも自然がまだ残って
います。この自然を大切にすこ
う意でも是非九六位山にこのよ
うな「少年の森」を実現させて
いただきたいと思います。

前号の綴穴の表示間隔が広くてご迷惑をかけました。十分注意します…… (M)

町かどのインタビュー率直なご意見ありがとうございます。……………(A)